

4. 発生対応型の施設整備

公共建築物の地震対策

建設部 まちづくり局 都市環境課

概要

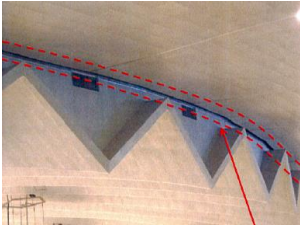
平成17年の宮城県沖地震時において、仙台市内のスポーツ施設の天井が落下して多数の負傷者が発生したことを受け、国土交通省（住宅局）では、類似施設の調査依頼と改善指導の通達がなされました（本省公園緑地課からも周知の事務連絡あり）。

道では、真駒内公園屋内競技場及び野幌総合運動公園総合体育館について、平成18年度に現地調査、平成19年度に振動解析調査を行い、安全性を確認した結果、国の示す技術的助言に適合しない施設であることが確認されたことより、平成22年度から天井耐震化工事を実施しました。

問題点

吊り天井材が地震時の振動の伴い、建物の壁との衝突によって落下してしまう可能性がある。

対策



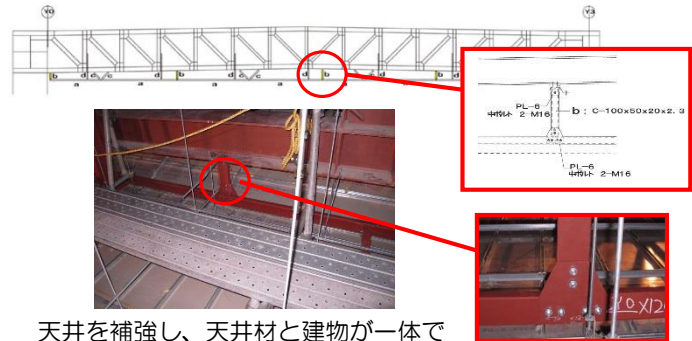
スリット設置



補強材設置

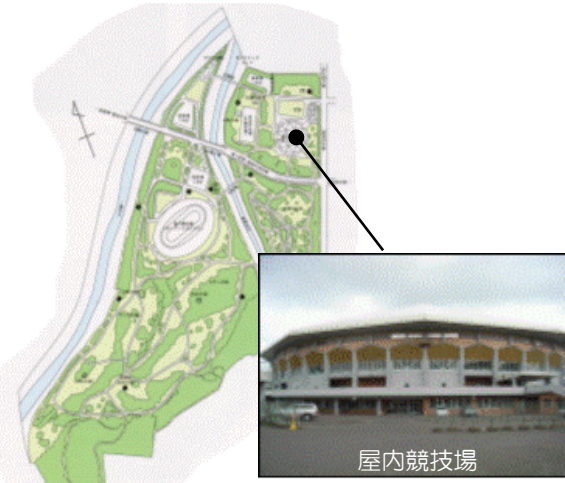
天井材と壁が衝突しないよう
なスリット（間隔）を設置

地震時の振動に対し、揺れ
を低減させる補強材を増設



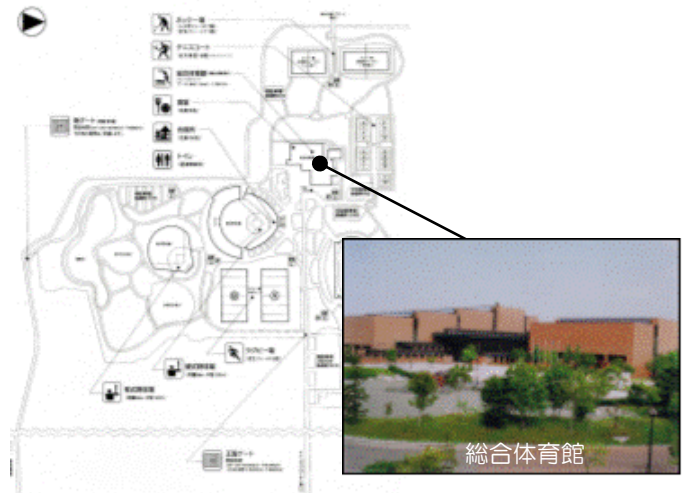
天井を補強し、天井材と建物が一体で
動くように固定

道立真駒内公園



屋内競技場

道立野幌総合運動公園



総合体育館

道立真駒内公園

札幌市街南部に位置する全体面積84.7haの広域公園である当公園は、「明治百年記念森林公園」の指定（全国10箇所）に伴い、昭和42年度から昭和49年度まで、修景施設・多目的広場などの整備を行っています。また、昭和47年の第11回札幌冬季オリンピックの主会場として、昭和44年度から昭和45年度まで屋内競技場・屋外競技場を整備しております。

現在もスポーツ利用をはじめ、レクリエーションに資する広域公園として、年間約57万人が訪れています。

道立野幌総合運動公園

江別市南部に位置する全体面積64.1haの広域公園である当公園は、平成元年に開催された第44回国民体育大会（はまなす国体）の競技会場として、昭和56年度から平成5年度まで、総合体育館（メイン・サブアリーナ棟、プール棟ほか）、陸上競技場、テニスコート、野球場（硬式・軟式）、多目的広場等を整備しております。大会後は、スポーツを通じ健康とレクリエーションの場として、年間約24万人に利用されております。